

# フジコナカイガラムシの 性フェロモントラップによる防除適期の把握

本種は近年、カキやブドウ、イチジクなどの果樹で多くなっている害虫です。作物に着色異常やすす病を発生させ、品質を落とします。体長が2~4mmと小さい上に果実のへたの下や樹皮の隙間などに寄生する事が多いため、その発生状況を捉えることが難しい害虫です。今回、本種の性フェロモントラップにより、発生状況が容易にかつ正確に把握できるようになりました。

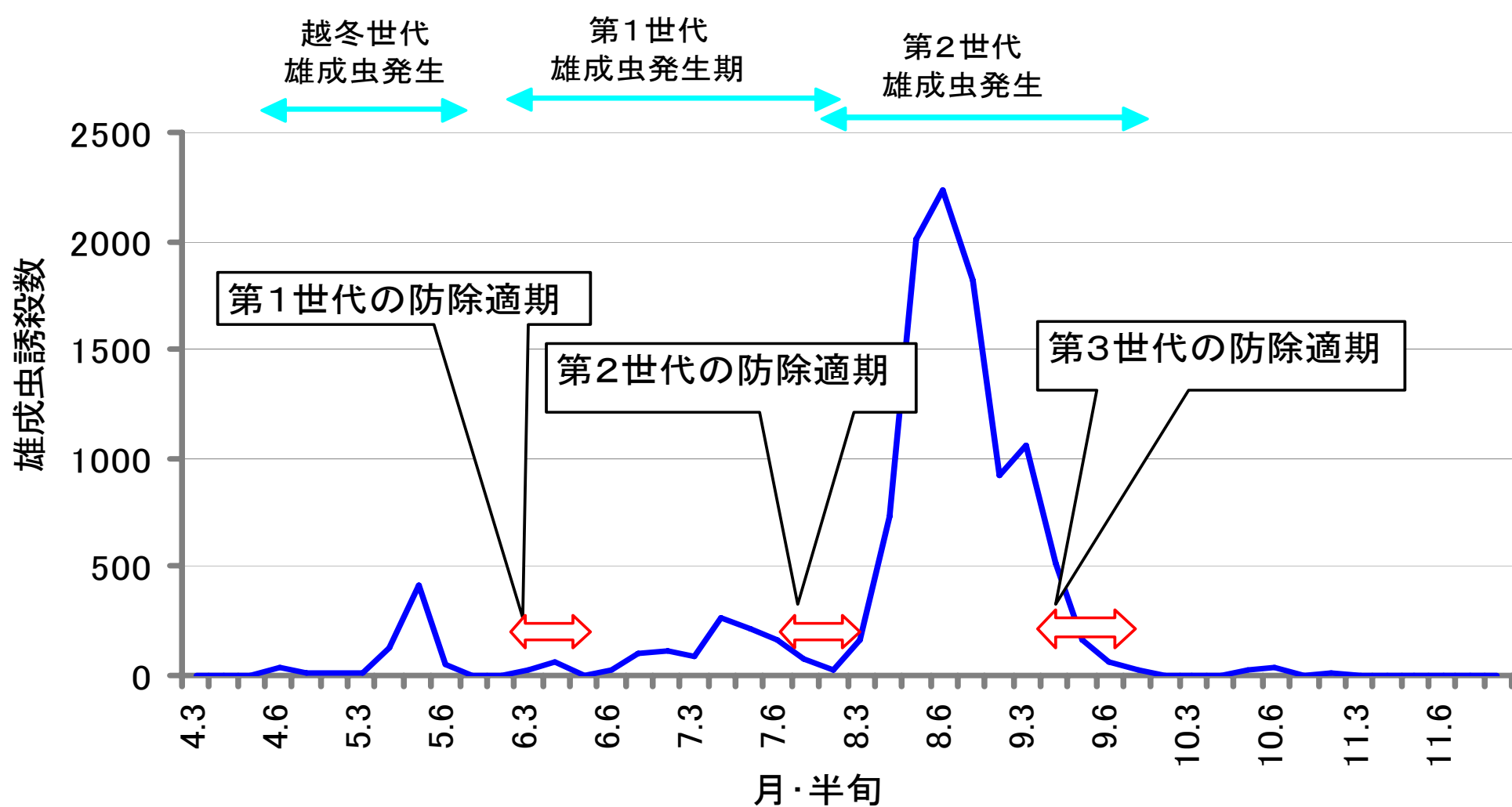
このことにより、正確な防除時期を掴むことができるようになると考えられます。



雌成虫

すす病

トラップと雄成虫の拡大図



フジコナカイガラムシの性フェロモントラップによる誘殺数の推移

(資源環境研究部 病虫グループ TEL 0853-22-6772)